

おいしい 美味しいお話

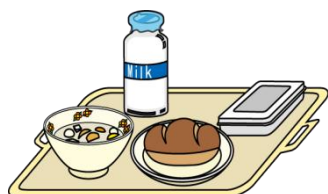
2015年 5月

お話の中に出てくる食べ物が、
食育の日（19日）の給食にも
登場します。

19日の献立

ごはん・かつおの香味揚げ・
野菜のごまあえ・みそ汁

紹介した本は
学校図書館で
借りられます



ごはん・みそ汁

『しずかな日々』

椰月美智子／講談社／B9 1 3-や

おじいさんの炊くご飯は絶品だ。お米にこんなに味があるなんて、大発見だった。甘くて、かめばかむほど味が出てくるのだ。はじめて食べたとき、ぼくは素直に感想を言った。

「ご飯、すごくおいしいです。こんなのはじめて食べました」

おじいさんは少しだけあごを持ち上げて、鼻の穴をちょっとふくらませて、「そうか」と言った。うれしそうだった。（本文 p113 より引用）

5年生になって^{おしの}押野という新しい友達ができ、それまでやったことのない野球にもさそってもらって楽しく過ごしていた^{みつ}光輝。ところが母さんが突然、遠くに引っ越すと言いだした。どうしても転校したくない光輝（みつ）は、今までに1度しか会ったことのないおじいさんの家でくらすことを選ぶ。ことばが少なく、一見とつきにくいおじいさんとの日々ははたして…。

みそ汁については、自分で読んでみてください。

ごま

『給食のおにいさん』

遠藤彩見／幻冬舎／B9 1 3-え

若竹小学校に新しくやってきた給食のおにいさん、佐々目宗。料理の腕はいいけれど子供嫌い。給食のおにいさんとしてちゃんとやっていけるのでしょうか。

給食を食べない1年生の佑磨のために宗がゴマを使って作ったのは…？

かつお

『県庁おもてなし課』

有川浩／角川書店／B9 1 3-あ

「旅館のお膳はどこに行っても代わり映えがせんねえ。どうせなら、その土地でしか食べれんものが食べたいわ、私なら。高知やったら何があるろう」

「やっぱりまずはカツオのたたきやない？塩たたきとポン酢の二種類。塩たたきは県外じゃちょっと珍しいろう」（本文 p149 より引用）

新しくできた「おもてなし課」に配属された^{かけみずふみたか}掛水史貴。地元出身の人気作家^{よし}吉門に観光大使を依頼したまではよかったが、やることなすこと「お役所仕事」だとダメだしされる。はたして観光客を呼び込んで、地元を元気にすることはできるのでしょうか。そして仕事の相棒、多紀との関係はどうなっていくのでしょうか。関ジャニ∞の錦戸亮さん主演で映画化されました。

（学校司書 鈴木あゆみ）